

# 会員通信

2019.10  
Vol.32

- アンケート結果 ..... 1
- 第25回 研修会報告 ..... 2・3
- 漢字教育サポーター研修会報告 3
- 漢字教育サポーターリレーコラム 4
- 書籍紹介 ..... 5
- 漢字研究の扉(コラム) ..... 6
- 漢字まなび活動のご紹介 ..... 7
- 投稿募集 ..... 8



## ネットワーク会員に聞きました!

今回のアンケートテーマは

「“令和”を生きる、私の二字熟語」です。

「令和」時代への意気込みや想いを  
二字熟語に込めてお答え  
いただきました!(回答者:18名)



### 新たなスタート!



## 出発

令和元年5月に昭和の時代から35年余り働いた会社を退職。60歳還暦を迎え、新会社へ希望を持って出発!!!

## 彩道

新しい時代を迎え、結婚に伴い新しい生活もスタート。自分の歩む道に彩りを添えて一步一步人生を楽しく歩む!!!

## 頂上

令和に入り山登りを始めた。頂上を目指し歩幅は小さくとも、足元の一步ずつを繰り返せば必ず頂に到達できる。その達成感はずっと清々しく、途中の苦しさを一瞬で忘れさせる。よしまた登ろうという勇気を与えてくれる。

### 挑む、励む



## 剛毅

剛毅という熟語には、「意志が固く、不屈なこと」という意味があります。僕は、将来社会に出た時のためにも、自分の意見をしっかりと持ち、他人の意見に流されないようにしていきたいと思っています。

## 立哨

小学校の登下校時の見守り活動を始め15年程経ちました。身体の許す限り頑張ります。

## 窮経

頭は白くなったけれど、八十路の坂を学に励みつつ登ってゆきたい。

## 邁進

何事にも邁進して行きたい。怠けの心を閉じ込めるぞ!

### 穏やかな日々を過ごす



## 偕老

42年連れ添った同級生の妻と出来るだけ長く平穏に、偕に歳をとっていききたい。

## 和令

ひっくり返してみました。和やかに生活する中で、己をより戒めて(令)、楽しんでみたいものです。

## 浩然

日本中、世界中の人々が、おらかでのびのびした心持ちで暮らせる時代にしていきたいという願いを込めて「浩然」としました。四字熟語では「浩然令和」(創作熟語です)を提案したいと思います。

## 正直

自分の思いに「正直」に向き合い、新しい時代をどこまでも楽しんで生きたいと思っています。

### 編集部よりコメント

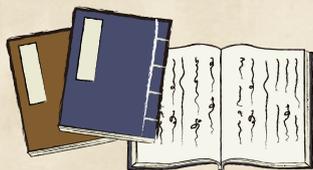
ご回答くださった全ての二字熟語の中に、重複している漢字は一つもありませんでした! 皆さまの個性と工夫がよく表れた結果ですね。「彩道」や「和令」など、創作二字熟語でお答えくださった方も複数名いらっしゃり、思い・意気込みを見事に表現してくださいました。ご投稿くださった皆さま、ありがとうございました!

今回のアンケートテーマは「漢検1級・準1級の受検を決めたきっかけは?」です。回答方法は8ページをご覧ください!

## 研修会 報告

# 第25回 会員向け研修会を開催いたしました

2019年7月21日(日)に長野県松本市にて、第25回会員向け研修会を開催し、11名の方にご参加いただきました。  
ご講演内容を簡単にご紹介いたします。



## 「国語科」誕生以前の漢字教育

浜松学院大学短期大学部 講師 和崎 光太郎 氏

### 1. 漢字・日本語をめぐる環境の複雑な変化

明治5(1872)年に学制という国の最初の教育法令が公布されてから、明治33(1900)年の第三次小学校令によって国語科が誕生するまでの期間は、現在の日本語が形成されるのに重要な、漢字の複雑な変化がいくつも起こりました。

変化の一つ目は、江戸時代後期から明治前期にかけて起こった、和製漢語の大量発生です。ヨーロッパの学問や文化などを当時の日本語で表現する中で、「人格」など、新しい漢語を大量に発明したのです。その中のいくつか、例えば「青年」などは、後に中国に逆輸出されています。

二つ目は漢字の読み方の大きな変化です。例えば、「言語」は「ゲンギョ」(漢音<sup>1</sup>+漢音)から「ゲンゴ」(漢音+呉音<sup>2</sup>)に変わるなど、我々が慣れ親しんでいる発音が、

この時期に多く生まれたのです。

三つ目は国字問題です。明治20(1887)年前後、西洋をモデルとした国民国家になるために、日本語をアルファベット表記にするか、今までどおり漢字や仮名文字を使うかが議論されました。

四つ目は、言文一致運動<sup>3</sup>です。この運動の最初の担い手は、『浮雲』の著者・二葉亭四迷をはじめとする、今日では小説家と呼ばれる人々でした。それから約10年後、次に声を上げたのは教育者集団です。初等教育の急速な拡大と、新聞や雑誌の隆盛により、手軽に読み書きできる人を増やす必要があったためです。

このような非常に複雑な時期に、漢字教育はどのように行われてきたのでしょうか。

1. 漢字の音の一種。唐代の長安付近の音が、遣唐使などによって伝えられたもの。

2. 漢字の音の一種。漢音が日本に伝えられる前に、すでに日本に定着していた。

3. 書き言葉を話し言葉に近づけようとする運動。

### 2. 江戸後期～明治初期の学校教育

江戸時代後期にはすでに庶民向けの学校がありました。寺子屋は寛政期(1790年代)以降に広まり、今日とは違って身分と属性に応じた個別指導をしていました。徹底的な身分制度が敷かれていたため、集団授業ができなかったのです。ここでは、書き(手習い)の教科書には「往来」と呼ばれる手紙文が使われていました。授業で扱われる漢字の単語は、例えば商売人をやるのであれば商売人用の「往来」が教材に使われるなど、あくまで実用的なものでした。次に読み(素読)ですが、これは

道徳も兼ねていました。主なテキストは『実語教』『童子教』です。

明治初期になると、各地に寺子屋に代わるような学校が地域主導でつくられていきます。京都の番組小学校はその代表例です。特徴は、江戸期の寺子屋の教科書を受け継ぎながらも、学習内容が次第に細分化されたことです。しかし、教育内容は江戸時代とほぼ同じで、読みと同時に道徳を身に着ける、地名を覚える中で漢字を覚える、といった実用を兼ねたものでした。

### 3. 明治5年の学制と漢字教育

明治5(1872)年に国による最初の学校法令である学制が出ると、漢字教育は大きく変わります。学制とは、国民皆学を目指した法令で、西洋諸国の教育制度が取り入れられています。この学制によって、居住場所で入学する学校が決まる学区制度と、級ごとにまとまって授業を受ける等級制が導入され、一斉授業が目指されました。

学制が出た直後は、年に1日でも学校に行った割合(当時の「就学率」)が男子で40%、女子にいたっては16%ですが、一時的なデフレの時期を除いて順調に上昇していきます。特に女子就学率は、日清戦争(明治27~28年)を機に急上昇していきます。日清戦争は別名「国民形成戦争」と言われています。新聞と雑誌によって戦地の状況が国内に伝わり、「我々は日本人なのだ」、すなわち、国民という意識が定着していくのです。漢字学習の視点から重要なのは、身分制の制度的解消と「国民」という共通の自己認識の普及(当時は男女で目指されるべき「国民」像がかなり違いましたが)、そして就学率の上昇に伴って、「国語」という統一言語の可能性が浮上してきた、ということです。

話を明治前期の漢字学習に戻すと、明治6(1873)年に文部省は師範学校、つまり教員養成所に「小学教則」をつくらせ、師範学校版の小学教則で使われた掛図<sup>かけず</sup>はそのまま教科書に掲載されます。その内容はかな文字よりも漢字がメインです。例えば掛図の一つ、単語図(下図参照)の「イ」の欄は、片仮名の「イ」以外は全部漢字です。漢字を学ぶことが同時に単語を学ぶことであるという、漢字・日本語の特徴が表れています。ただし、従来の往来物による学習とは違って、日常から離れた漢字、抽象度の高い熟語を教えるようになったのです。この頃から子供は、新しい概念を知ると同時に漢字も勉強しなければいけない状況に変わっていきます。その20年以上も後、明治33年に国語科ができるのですが、今回はこの時代までのお話で終わります。



4. 絵図などを表装した、指導用に用いる掛け軸。

## 漢字教育サポーター 研修会報告

- 日時: 2019年7月21日(日)
- 研修会内容:

### サポーター講演会 「公民館での講座 開催について」

人口あたりの公民館数が全国トップクラスの長野県。公民館で講座経験のあるサポーターのお二人に、内容例・工夫などをご講演いただきました。

#### 1期生 古幡 健夫さん

「漢字のなりたち」を中心に、計6回の連続講座を立ち上げた古幡さん。遠方から通う方もいらっしゃる人気講座で、活動の様子は地方紙にも取材されました。受講者のご高齢の方が多かったそうです。パワーポイントなどを用いて視覚的にもわかりやすくしたり、毎回講座の終盤には「当て字」をクイズとして出題したりと、受講者の興味を惹く工夫を教えてくださいました。

#### 1期生 北原 真由美さん

子供向け/大人向けのどちらの講座もご経験されている北原さんには、オリジナルゲームを組み込んだ講座内容をご紹介します。長野県で有名な県歌、「信濃の国」の歌詞を用いて漢字穴埋めクイズを作るなど、地域の特徴を活かした工夫もありました。公民館での講座開催までの流れも教えてくださいました。



## 次回研修会は

11月17日(日)京都市 漢検 漢字ミュージアムにて開催します。  
皆さまのご参加をお待ちしております! ※詳細は同封のチラシにてご確認ください。

# 漢字教育 サポーターリレーコラム

このコーナーでは、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さまによる漢字や漢字教育活動に関するコラムを掲載します。

第8回は埼玉県にお住まいの原田慎二さんにご執筆いただきました。

## 語源から辿る漢字のおもしろさ 第1期漢字教育サポーター 原田 慎二

ご縁があって漢字教育サポーター育成講座の存在を知り、2013年1月に第1期生としてお仲間に加えていただきました。普段は現役の理科教員として高校生や中学生に接していますが、土日になれば、可能な範囲で時間を作り地域の「市民大学」や「小学校の放課後教室」に出向いて漢字をテーマに講話をしています。

昔から、稚拙ながらも「漢詩」の創作を楽しんでいて、それが高じて中国古典とのお付き合いが始まり、現在は数多の和漢の書に囲まれ広大無辺の漢字の海で、樂字游字(字を楽しみ字に遊ぶ)の日々です。

第1期生の親睦と勉強会を兼ねて「漢字教育研鑽会」が2013年6月にスタートし、不定期に東京都内で勉強会を開いて現在に至っています。会員相互の知見をより広く共有できるようにと、今年度から他期生のサポーター様にも参加をいただきましたが、互いにより刺激の場になりました。今後も気軽にご参加いただける会にしたいと思っています。

下は、「さいたまシニアユニバーシティ」(さいたま市・6月)の講話のようすです。テーマは、「弥生人は、なぜ自創の絵文字すを棄て漢字習得に向かったのか」です。プロジェクターで弥生土器の絵文字

や東アジアの歴史資料を見た後、学生の皆様に推論していただきます。

小学校で開催した「こども論語塾」(さいたま市・7月)です。下は、「論語カルタ」を楽しんでいるところです。1~3年生と4~6年生のグループに分け、百人一首の要領で論語の一文を上下に分け、読み上げます。取り札は下の文しか書いてありませんが、慣れてくると子供たちは、意味などわからずとも上の文を聴いただけで札を取れるようになります。本当に驚くばかりです。「論語」に登場する漢字はそれぞれに物語がありますから、その語源を辿って子供たちの興味を引き出していきます。漢字の世界に遊んだ子供たちは、もう立派な「漢字博士」です。



原田さんからの紹介で

次回は青森県の斎藤 ミツさんのコラムを掲載します。  
お楽しみに!



### お知らせ

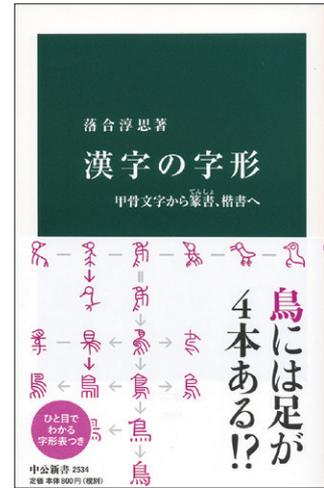
次年度、第9期漢字教育サポーター育成講座を開講することが決定いたしました。受講期間は2020年4月上旬~2021年3月末日となる見込みです。次号2月上旬発行予定の会員通信Vol.33に案内を同封いたしますので、受講ご希望の方は今しばらくお待ちください。

## 書籍紹介

## 『漢字の字形 甲骨文字から篆書、楷書へ』

中央公論新社(中公新書) 2019年 落合 淳思著 本体800円+税  
【紹介者】京都府 田中さん

「けものへん(狗の左側)」と「犬」は、元来は一つなのに、  
どういう風に分かれたのか。「東」は、本来袋を縛った形な  
のに、どこで「木」と「日」の形になったのか。など、当たり前  
のように説明されてはいるが、よく考えてみると経過が  
わからなかった漢字の形の変遷について、殷、西周、東周、  
秦、それ以降と、時代を追ってわかりやすく解説された書。  
各時代の字形を一つで代表させるのではなく、バリエー  
ションごとに、丹念に採集され、分類され、整理されてお  
り、その関連を解説された著者の努力に脱帽です。



## 『ニャンダフル! ことわざ100選』

辰巳出版 2014年 ネコまる編集部 編 本体1,200円+税  
【紹介者】愛知県 水谷さん

私が今回このコーナーで紹介したい本は、ネコまる編  
集部編『ニャンダフル! ことわざ100選』です。この書籍  
はことわざを理解すると共に猫さん達の写真にも癒して  
貰えます。

扱、前作品同様、ことわざの意味を理解して頂くと共  
に、それを会話形式にして覚えて頂ければ文章術も更に  
御上達されることと存じます。かく言う私も某ことわざ  
の書籍でヒントを得たものでございます。何卒御覧頂け  
ますよう宜しく御願い申し上げます。

漢字クイズ  
難読地名

## 大阪府

今回は、大阪府の地名を紹介します。  
以下の3つの地名は何と読むでしょうか。

- ① 止々呂美 (箕面市)
- ② 出灰 (高槻市)
- ③ 榎谷 (貝塚市)



解答は7ページへ

※画像はイメージです。

# 漢字研究の

# 扉

このコラムでは、漢字文化研究所の研究者が「日本語や漢字の面白さ、奥深さ」を会員の皆さまにお伝えします。

漢字文化研究所とは、日本文化の側面から日本の漢字をつまびらかにする調査研究等を行うために、日本漢字能力検定協会内に置かれた組織です。

## 鎖骨

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 漢字文化研究所

田中 郁也



ミュージアムの企画展制作のため漢語の由来を調べていた際に、面白い話を見つけました。今回ご紹介するのは、「鎖骨」という漢語の由来です。

「鎖骨」の意味を国語辞典で確認してみると、①くさり状の骨 ②両肩にある骨 という2つの意味が載っています。まず②から考えてみましょう。「両肩にある骨」をどうして「鎖骨」というのでしょうか。これは江戸時代の蘭学由来の術語で、オランダ語「Sleutel-been(スレウテルベーン)」を訳してできたものです<sup>1</sup>。西洋解剖学書の術語集である「ほんやくしんていめいぎかい おおつぎげんたく翻訳新訂名義解」(大槻玄沢、1796年成書)によれば、オランダ語のスレウテルとは<鎖匙>の意味で、その骨の形が<鎖匙>に似ているところからこう名付けられた<sup>2</sup>とのことです。鎖匙とは、「カギ」という意味の中国語「やくし鑰匙」の別名<sup>3</sup>。つまり、「鎖骨」は、オランダ語の「スレウテル(=鎖匙=カギ)ベーン(骨)」を直訳して作られた翻訳語なのです。「鎖」字はもともと「くさり」の意味ですが、門を閉じる用途にくさりが使われたことから「とざす」や「錠前」といった意味でも使われ、ここでは錠前を開ける「カギ」の意味で使われています。

では、初めに見た「鎖骨」のもう一方の意味、①くさり状の骨とは何を指すのでしょうか。こちらは仏教と関係があります。唐代に書かれた次のお話の中に、鎖骨菩薩という、現代の我々の感覚からすると珍妙な名前のホトケ様が出てきます。

延州(現:陝西省延安市付近)に、25歳前後の美しい遊女がおり、街中の若い男と関係を持っていた。数年後その遊女が死ぬと、州の人々は悲しみ、金を出し合って葬儀を行い、身寄りがなかったため道端に葬った。その後、西域から僧がやってきた。僧は墓を見ると、布を地面に敷いて礼拝した。人々は僧に尋ねた。「この墓の主人は遊女です。どうして和尚様はそのように敬うのですか」と。すると僧は答えた。「あなたは知らないようですが、これは大聖人です。進んで世俗の欲に従い身を投げ出したのです。これこそ鎖骨菩薩で、俗世の縁が尽きたので聖人となったのです。信じられなければ、確認してみるとよいでしょう」と。人々が墓を開いてみると、果たしてこの僧の言う通り、全身の骨が鎖状につながっていた。延州の人たちは不思議なことだとし、だいほうえ大法会を設け、塔を建てた<sup>4</sup>。

お釈迦様は骨がつながっていたとされ<sup>5</sup>、遊女の骨がくさり状につながっていたのは聖人である証。このように、「鎖骨」とはもともと大変ありがたい骨だったのでした。

遊女が実は菩薩であったとする説話は他にもあり、漢字研究とは直接関係がないものの、そのつながりにも興味が湧いてきます。

今回は「鎖骨」の意外な意味についてご紹介しました。



※1 杉本つとむ(1983)『日本翻訳語史の研究』(八坂書房)など。 ※2 『重訂解体新書』巻1「翻訳新訂名義解」巻之下「鎖骨」の条。 ※3 明代の俗語辞書、陳士元『俚言解』巻2「鎖鑰」の条に「俗謂開鎖具為鑰匙、亦曰鎖匙」とある。 ※4 『太平広記』巻101所引唐・李復言『続玄怪録』巻5「延州婦人」の意訳。 ※5 『長阿含経』「大本経」(「大正蔵」冊1)に、鎖のようにつながった骨がお釈迦様の特徴の一つであると書かれている。

## 漢字まなび活動のご紹介

当協会の「2019年度漢字まなび活動助成」に採用された活動の一部をご紹介します。  
お申し込みやお問い合わせは各主催団体へお願いします。

## 北海道

## 活動名: 第24回特別講演会

日 程: 2019年11月16日(土) 13:00~15:00 開場は12時

会 場: 道民活動センター かでる2・7 820号会議室

講 師: 八重樫 一 氏 (福島県漢字同好会会長・論語指導士・漢字教育サポーター・漢字教育士)

演 題: 「孔子の生涯と論語」

内 容: その生誕から没年までを順に辿りながら論語について学びます。

聴講料: 500円(当日受付にて徴収)

申込先: 事前申し込みは不要。当日ご来場ください。

主 催: 北海道漢字同好会事務局 電話011-691-5123  
E-mail kanji0764@nifty.com

## 福島県

## 活動名: 澁澤尚先生講演会

日 程: 2019年12月(いずれかの日曜日に開催予定)

会 場: 郡山市市民交流プラザ(予定)  
(福島県郡山市駅前2丁目11-1 ビッグアイ7階)

講 師: 澁澤 尚 氏(福島大学 人間発達文化学類 教授)

演 題: 未定

参加費: 無料

申込先: 事前申し込みは不要。当日ご来場ください。

主 催: 福島県漢字同好会

## 新潟県

## 活動名: 阿辻哲次先生による一般向け漢字講演会

日 程: 2019年12月8日(日) 午前10時~12時

会 場: 新潟駅前カルチャーセンター802号室

講 師: 阿辻 哲次 氏 ((公財)日本漢字能力検定協会漢字文化研究所所長)

演 題: 「漢字のしくみとあゆみ~知っておきたい漢字の知識~」

参加費: 無料 但し、先着順 定員60名

申込先: 事務局 太田まで 電話申し込み(090-8640-8761)

申込締切日: 2019年11月30日

主 催: 新潟県漢字同好会 事務局 太田(090-8640-8761)

## 神奈川県

## 活動名: 横浜あさひ漢字塾

日 程: 毎月第2日曜日 13:00~15:00

2019年10月6日、11月10日、12月8日、  
2020年1月12日、2月9日、3月8日

会 場: 横浜市立万騎が原小学校 B棟2階教室

講 師: 北島 茂治、有賀 理  
(ともに漢検漢字教育サポーター、漢検1級)

内 容: 大人と子どもが一緒に漢字を楽しく学ぶ講座です。講座のご受講希望はもちろん、講師活動に関心がある方のご見学も受け入れています。

参加費: 1回300円(学生は200円)

持ち物: ノート、筆記用具

申込先: 参加希望日までに有賀 理  
(TEL:090-9348-7987)へお問い合わせください。

主 催: 万騎が原地区青少年指導員連絡協議会

## 活動名: 横濱漢字の会 定例会

日 程: 毎月第2土曜日

会 場: ミューザ川崎 会議室

内 容: 漢字や日本語に親しみ、参加者の漢字力の向上と知識の共有を図ることを目的とする。

参加費: 無料

持ち物: ノート、筆記用具

申込先: 横浜市情報サイト「まいづれ」よりお申し込みください。  
<https://yokohama.mycl.net/community/000000002805/>

主 催: 横濱漢字の会

## 漢字クイズ

## 難読地名

## 大阪府

## 解答編

- ① とどろみ(止々呂美)
- ② いずりは(出灰)
- ③ きびたに(柵谷)

【今回の一字】 柵 (1級)

音: キョ 訓: くろきび

意味: くろきび。実が黒いきび。「柵酒」

参考:「漢検 漢字辞典[第二版]」・「漢字ペディア」

※「漢字ペディア」は登録商標です。

お知らせ

# 会員通信への 投稿募集中!

会員通信を充実させるため、会員の皆さまからの積極的なご投稿をお待ちしています。

アンケートにご回答、もしくはご投稿いただいた方の中から抽選で3名の方に「今年の漢字」図書カード(500円分)をお送りいたします(当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます)。



## 会員向けアンケート回答方法

### 今回のアンケートテーマ「漢検1級・準1級の受検を決めたきっかけは？」

合格には限りない努力を要する、漢検1級・準1級。そんな難関級に皆さまが挑もうと思われたきっかけは何ですか? 右記の二次元バーコードを読み取るか右記のアドレスを入力し、2019年11月22日(金)までにご回答をお願いいたします。

[https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_138/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_138/index.do)

※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールもしくは電話にてお知らせください。郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りします。



## 1級に初めて合格しました!

あなたの合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「あなたの」経験をご投稿ください。

- 投稿内容: ①合格時期  
②合格までの受検回数  
③合格に向けて工夫したこと、励みになったこと  
④合格した時の気持ち、感想  
⑤今後の目標

※文字数: 項目①~⑤までの合計で500字以内  
※対象: これまでに1級合格経験のある方  
※当協会運営のWebサイト「漢字カフェ」に、お名前を伏せて掲載させていただく場合がございます。ご了承ください。

## イベント告知

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

- 投稿内容: ①日時 ②会場 ③内容 ④参加費  
⑤公開してもよい連絡先(メールアドレス・電話番号等)

※会員通信は6月、10月、2月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでのお知らせとなる場合がございます。

## 投稿方法

- ①~④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の宛先にお送りください。  
①会員番号 ②氏名(ペンネームも可) ③電話番号  
④各コーナーへの投稿内容やご意見・ご感想

投稿先 **日本漢字能力検定協会**  
**生涯学習ネットワーク担当**  
メール: lifelong@ic.kanken.or.jp  
FAX: 075-532-1110  
郵送: 〒605-0074  
京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日: 2019年11月22日(金)

- ※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。  
※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。  
※ご投稿いただいた内容は、当協会運営のWebサイトに掲載させていただく場合がございます。ご了承ください。  
※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。  
※全てのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただくことがあります。ご了承ください。

## 書籍紹介

漢字・日本語に関する書籍で面白いと感じたもの、興味を持ったものをご紹介ください。

- 投稿内容: ①書名 ②著者名 ③出版社名 ④発行年  
⑤お薦めの理由(250字以内)

## 漢字クイズ・パズル

漢字に関するオリジナルのクイズ・パズルのご投稿をお待ちしております。

- 投稿内容: ①問題 ②解答(未発表作品に限る)  
※例: 漢字クロスワードパズル、難読漢字パズル、漢字クイズ等



公益  
財団法人

**日本漢字能力検定協会**

本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地  
※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

<https://www.kanken.or.jp/>



**0120-509-315**

月~金9:00~17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)  
※検定日とその前日の土・日は窓口を開設  
※検定日・申込締切日は9:00~18:00

